

県政
レポート

令和3年6月定例会一般質問②

質問② 街路樹の管理について

大木化した街路樹や雑草が繁茂した植樹帯は、通行に支障となっている。街路樹の管理について、現状と課題をどのように認識し、今後どのような方針で取り組んでいくのか。

答弁 歩道幅員が狭く通行の妨げとなっている低木、大木化により視認性を悪化させている中高木、老朽化により倒木が懸念される中高木について、数年間で撤去を進めていく。その後は、撤去により縮減される管理費を有効活用し、街のシンボルとなる道路を中心に、中高木の剪定を2年に1回に増やすとともに、樹木が持つ本来の美しい樹形に整える剪定方法に見直していく。また、中高木を撤去した箇所では、必要に応じ、大きくなり過ぎない樹種への植替えにより、街路樹を再生していく。

質問③ 県立高校のICT化推進について

ICT研究校、商業科、定時制・通信制、山間部などの学校に、一人一台となるよう重点的に配備された。貸与端末の修繕費用を誰が負担するのか。不適切サイト等のセキュリティ対策をどうするか。

答弁 通常の使用や不可抗力による故障等については、リースによるものはリース契約に付帯しております補償保険により対応し、買い取りによるものは県が修繕費を負担する。本県が配備した生徒用端末については、検索エンジンを、成人向けのサイトにアクセスできないように設定してある。生徒全員が学ぶ情報科の授業の中で、情報通信ネットワーク上のルールやマナー、個人の責任等について学んでいる。また、授業以外でも機会をとらえて、トラブルに巻き込まれないための留意点などを指導している。

会長のご挨拶

盛夏の折、皆様いかがお過ごしでしょうか。1年延期された東京オリンピックが無観客で開催され、コロナ対策の制約の中、持てる力を精一杯出しているアスリートの姿に感動すると共に多くの皆様がテレビ観戦で一喜一憂されていたのではないかと思います。

一方、新型コロナウイルスの感染状況はワクチン接種の遅れと相まって感染力の強い変異株により感染者が急拡大している状況です。再々度の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の効果も慣れによって一時的なものになっているように思われます。

また、毎年のように集中豪雨による悲惨な災害が発生しており、今まで以上に防災対策を更に進める必要があります。国民そして地域住民の生命と安心・安全な生活を守る事が政治に課せられた最重要事項であり、神谷県議会議員に一層頑張ってくださいと期待しています。毎日暑い日が続きますが健康に十分ご留意されると共に、今後とも皆様のご支援とご鞭撻を頂けますようお願い申し上げます。



神谷かずとし後援会 会長
奥田 清仁

神谷かずとしを囲む
親睦ゴルフ大会
令和3年10月29日(金)
ロイヤルカントリークラブ下山コース

今後の後援会行事予定



神谷かずとし後援会
2022年 伊勢神宮参詣の旅
令和4年1月14日(金)

新型コロナウイルス感染に伴う状況により、開催中止となる可能性があります



トンボの羽はなぜ透明で、川はなぜとうとうと流れ続け、彼岸花はなぜ一斉に咲き、ウイルスはなぜ人や動物と共存するのだろう。

どれをとっても不思議なことばかりですが、全て自然のなす技であることに人々は遠い昔から畏怖と感謝をもって祈り続けてきました。他の生き物と違い、ヒトだけが祈るということを任されているのかもしれないね。

『大地』第5号も皆様のお陰で発刊できました。ありがとうございました。

神谷かずとし後援会事務所

〒471-0841 豊田市深田町1丁目81番地
TEL(0565)77-2001 FAX(0565)77-7304

お気軽にお立ち寄りください。



神谷かずとし後援会広報誌



— 第5号 —

発行所 神谷かずとし後援会
〒471-0841 豊田市深田町1丁目81番地
TEL(0565)77-2001 FAX(0565)77-7304
発行責任者 奥田清仁
発行日 令和3年9月1日



ごあいさつ

暑中お見舞い申し上げます。コロナ禍の中で2回目の夏を迎え、ようやくワクチン接種が進み長いトンネルの出口が見えてきましたが、変異型が蔓延する等、まだまだ予断を許さない状況が続いています。皆様おわかりなくお過ごしですか。本来なら様々な地域行事を通して、事あるごとに直接お目にかかり皆様のご意見、ご要望にお応えすべきところではありますが、その機会も少なく歯がゆく感じております。

県議会におきましては、新型コロナ発生以来、医療関係施設支援、宿泊療養施設設置、大型集団接種会場設置、緊急事態措置、まん延防止等重点措置など17回に及び補正予算を編成し、その対策予算の累計は9千億円を超えました。まさに感染対策に全力で取り組んだ1年半であります。また令和3年度は警察委員会に所属し、防犯、交通安全など警察行政に取り組んでまいります。また愛知県森林協会副会長を拝命しましたので、さらに林業、農山村の発展に努めてまいります。今後とも皆様からご付託に応えるため、地域の皆様方の声に耳を傾けてまいりますので、何かお困りごとがありましたら、どんなことでも直接ご連絡いただけますようお願いいたします。

結びに、皆様とご家族様のご健勝とご多幸をお祈りし、挨拶といたします。

神谷かずとし

県政
レポート

令和3年6月定例会一般質問①

質問① 県産木材の安定供給について

輸入木材の価格高騰や調達困難の形で「ウッドショック」が波及している。今後、県産木材の需要拡大を進めていくために、需要に応じた安定供給をどのように進めていくのか

答弁 航空レーザ計測により取得した情報を、木材を生産する事業地の選定等に活用するための「森林情報のクラウド化」や林業技術者の確保・育成を進めていく。さらに、需要に応じた的確な供給を実現するため、ICTを活用して林業経営体の木材生産情報と製材工場等の需要情報を共有する「木材需給情報システム」の導入に取り組んでいく。このシステムで情報を共有することで、これまでの見込み生産から、需要に応じて生産する、いわゆるマーケットインの生産への転換を進めることができる。また製材工場は、余分な在庫を抱えることなく、注文を受けた製品を効率よく生産することができる。木材・住宅業界が県産木材を継続的に使っていくためにも、このシステムを通じて、川上から川下まで多くの事業者がWin-Winの関係を築き、安定供給が実現するようしっかり取り組んでいく。



対談

愛知県議会議員 神谷かずとし × 衆議院議員 八木てつや

豊田市域の防災について



近年、異常気象に伴う災害が身近にも起きています。令和3年6月18日に、経済財政運営と改革の基本方針2021が閣議決定されました。

そこで今回はその方針の中にある“防災・減災・国土強靱化”をテーマに、国や県とのパイプ役である八木衆議院議員(以下八木代議士)と神谷県議会議員(以下神谷県議)に対談していただきました。

昨今、ゲリラ豪雨や台風による河川の氾濫が各地で増えていますが、いかが思われますか。

神谷県議 最近でも逢妻女川が後50cmで越水するかという危険な事態が起きるなど、昨今の異常気象といわれることが、もはや当たり前のように毎年日本各地で甚大な災害として繰り返されています。そのような水害の多さから、河川の改修が優先度の高い公共事業であると思っています。

八木代議士 河川の流量を増やし、流域でも豪雨対策を進めることが現在の水害対策の主流ですね。例えば田圃の排水を止め、天然の貯水槽とするのも流域対策の1つです。

神谷県議 政府の予算割り当てもあり、逢妻女川・男川の改修工事の終了予定が2032年迄であったのが5年短縮されました。



逢妻女川改修工事

八木代議士 豪雨災害はいつ起こるのか分かりませんので、流域対策も同時進行で進める必要があります。そのためには、国交省や農水省の予算が必要です。

神谷県議 上郷流域では昔から冠水の恐れがあり柳川瀬にポンプ場が設置してありますが、老朽化のため更新工事を急いで進めています。また、県が危険区域として指定する約8割が平松地区の急傾斜地に集中しているため、熱海の土石流であったような盛り土開発が管理されているか点検が必要です。



上郷柳川瀬排水機場改修工事

八木代議士 最近では、線状降水帯が頻繁に発生しています。雨雲レーダーの活用が一般的になっていますが、いつどこでどれだけ降るか正確な情報は、まだ間際にならない限り分かりません。豪雨の最中だけでなく、止んだ後も土砂災害は発生するため、熱海のような例は予測が難しいのが現状です。

神谷県議 この地域にも起こり得るので、他人事ではなく自分たちのこととして捉えなくてはなりません。何よりも人命が最優先です。行政から避難指示が出た際は、まだ大丈夫だろうと自己判断せず、いち早く指示に従い行動して頂くようお願いいたします。

八木代議士 過去に旧小原村で発生した47災害(昭和47年に起きた土砂災害)で被害に遭い亡くなられた方がいる事を我々は忘れてはなりません。そのような事が二度と起こらないように、対策をいかに進めていくかが私たちの課題であります。また、予算の面からすると、国交省から国土強靱化として5年延長され15兆円付けることになりました。そのメインとなるものが河川流域の改修です。

神谷県議 幸いにして矢作川では、川幅の狭窄部分を開削する工事が進んでいます。ここを開削することで洪水などが緩和される効果があります。

八木代議士 河川工事は下流から行うことが定石ですが、私は常々国へ「災害が起きた時の経済損失を加味した対策をしていかなければいけない」と言っております。例えば豊田市の街中が水没すると8000億円の損失が出る、と想定されています。早く行うことはそれだけ損失を防げるので、神谷県議の言われる逢妻女川・男川に加え矢作川や巴川もしっかりやって行かなければいけないと考えています。

神谷県議 特に最近では雨量も増加傾向なので、小さい河川の対策も考えなければなりませんね。

防災・減災には水害以外にも地震災害も忘れることはできません。この地域では、東南海・南海地震が発災した場合、猿投断層が心配されますが、その辺りはいかがお考えでしょうか。

神谷県議 我々は過去に起きた大震災を忘れてはいけません。地震というのは断層によって発生するので、断層の上に乗っている地域は特に注意をしないといけないですね。

八木代議士 東南海・南海地震が同時に起きた場合のハザードマップはありますが、これを見て大半の方はどのように建物を補強しようか、どんな避難袋を備えようかと考えていると思いますが、まずは命を守るためにどのように逃げようかと考えて準備することが第一であると思います。常日頃から、もしここで起きた場合どうするかという避難訓練などを実施しておくのと良いと思います。



県道 豊田・刈谷線建設中

神谷県議 県全体で見た場合、地震による豊田市の被害は少ない方になるかもしれませんが、尾張や碧海の沿岸部は甚大な被害を受けると想定されています。そのような時に支援をするための前線基地になるのが豊田市ではないかと考えます。県では豊山町を前線基地にするという計画が上がっていますが、復興支援を担う基地として豊田市にも役割があるのではと思います。

八木代議士 確かに物流の面で高速のインターチェンジが8箇所もあるような地域は珍しく、支援拠点の役割を担えるインフラを備えています。

拠点が被災地になるかもしれないので、複数あってもいいですね。ただ市民としては、各避難場所の設定など不安を感じることがあります。例えば被災時に、逢妻地区では逢妻女川が地域を分断してしまい、問題になるのではないかと思います。都市計画の変化に合わせて柔軟に見直すというのではないのでしょうか。

八木代議士 ハザードマップは平面的に作成されていますが、本来は立体的に捉えるべきだと考えます。

神谷県議 避難に使うルートによっては、平面的に見ているだ



愛知県議会議員
神谷かずとし

昭和36年1月2日生まれ。
平成19年 豊田市議会議員選挙(初当選)
平成29年 自由民主党豊田支部副支部長
平成30年 自由民主党愛知県第十一選挙区支部副支部長
平成31年 愛知県議会議員選挙(初当選)



衆議院議員
八木てつや

昭和22年8月10日生まれ。
平成24年 衆議院議員総選挙初当選(第46回)
平成26年 衆議院議員総選挙当選(第47回)
平成29年 衆議院議員総選挙当選(第48回)
平成30年 自由民主党副幹事長
令和元年 環境大臣政務官
(第4次安倍第2次改造内閣)